

新聞社名	琉球新報朝刊
日付	2001/3/11
キーワード	オフィス開代表開梨香、エコツーリズムを語る

ほのぼの エコロジー

沖縄観光は、昨年一年間の入域観光客が四百五十二万人を突破、今年は五百万人を目標に施策を展開している。県や沖縄観光コンベンションビューローは、バックツアアに代表されるマストツーリズムの推進に加え、コンベンション観光や、エコツーリズム、ウエルネス観光など新しい滞在型観光の開拓にも力を入れている。民間サイドから新しい観光形態に関わり、日本エコツーリズム推進協議会（東京、兼高かおる会長）の設立発起人でもある企画会社・オフィス開の開梨香代表に話を聞いた。

「エコツーリズムをどう定義しているか。本柱を同時に成立させる。自然、文化など地域観光と考えている。観光資源の保護と観光業の成で地域資源が損なわれな

日曜インタビュー

ガイドの育成不可欠

いよう保護、保全システムを作り、地域資源が継続的に存続すること。地域経済が潤うことが目的。難しく聞かせるが、「肝心なのは、もてなしの心と来訪者に何を提示するかだ。自然の散策

地元主導のプログラムを



オフィス開代表 開 梨香さん

「それぞれの地域が主体となった観光プログラムを」と語る開さん

「観光客にその地域の自然や文化を分かりやすく説明でき、知識も深いガイドの育成が不可欠。さきほど地域経済に貢献する仕組み作りが必要だ。地域専門のエージェントを通じて、地元は観光資源を提供するだけというパターンが多かった。エー

「上げることができ。文化や自然を保護しながら観光業が成り立ち、経済的効果が高いことが分かる。自然や文化を分かりやすく説明でき、知識も深いガイドの育成が不可欠。さきほど地域経済に貢献する仕組み作りが必要だ。地域専門のエージェントを通じて、地元は観光資源を提供するだけというパターンが多かった。エー

（聞き手 政経部・宜保靖）

エコリズム

○：「エコリズムは地域の宝探し」と話す

のは、エコリズム推進協議会沖縄支所長の開梨香さん。沖縄では



開梨香さん
エコリズム推進協議会
沖縄支所長

る。「台風の中でも暮らしてきた、昔ながらの生活の知恵みたいなものが、エコリズムの原点だ」とも。

○：「マス(大衆)リズムはエージェン트가主体。エコリズムは地域が主体だ」と話し、「その地域と触れ合い、地域のことを愛しく思うことで、形からでなく、内面からのエコリズム

地域の宝探し

会員数はまだ少ないが、全国的には約二百人の会員がいる。宝とは、琉球舞踊やウコン、さまざまな文化・歴史、地域の人などであったりするが、それを守り継ぐ「知恵と誇りが重要」と力説する。開梨香さんは、

ムが生まれる」と語る。宮古島と座間味島のモニターツアーの先導もした。「当たり前前の資源をどう磨けるか。それが地域おこしのキーになる」ことを学んだことが一番の収穫だったとか。